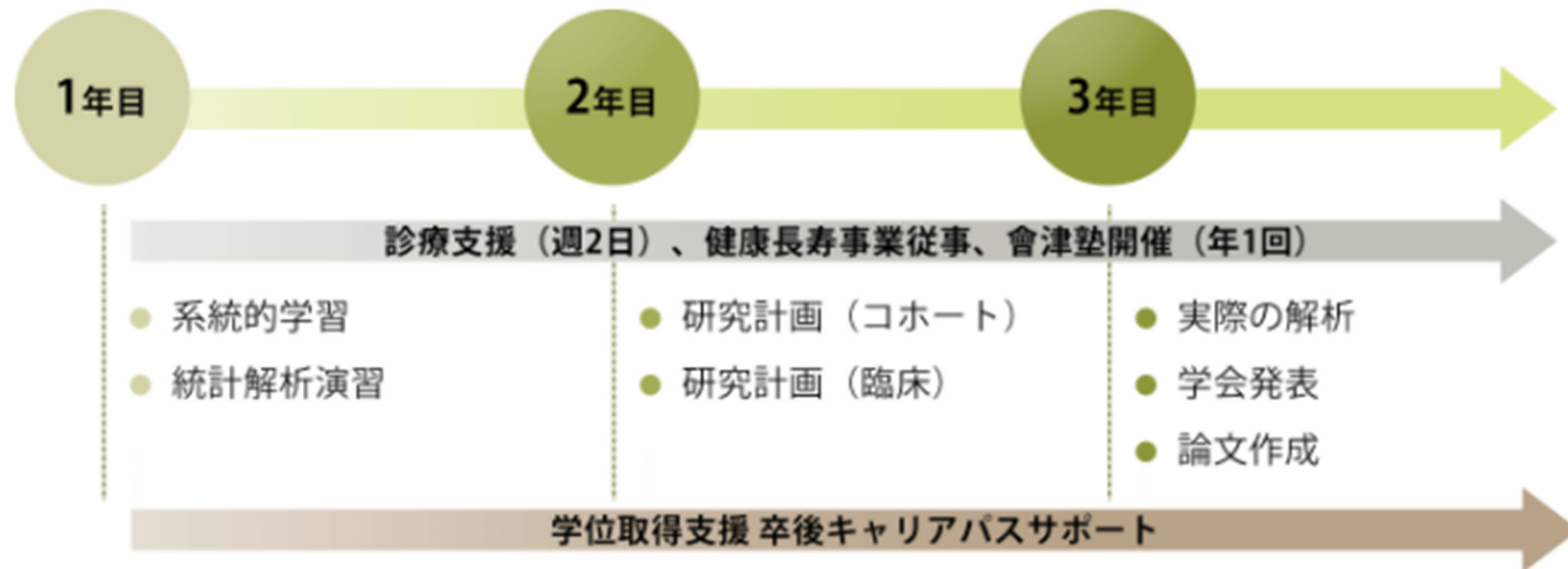


福島県立医科大学
臨床研究イノベーションセンター
臨床研究フェローシッププログラム

福島県立医科大学
臨床研究イノベーションセンター

1. 臨床研究フェローシップの説明

臨床研究フェロー モデルケース



1.1. わたしたちのミッション

ミッション：

質の高い臨床研究を実践する医師を育て、
研究を通じて得られた知見を住民に還元し、

福島県民の健康寿命を

日本のトップレベルにする。

1.1.1. わたしたちのゴールについて

1. 医療者を元気に

臨床研究を身に着け、実践する臨床研究医を育てる

2. 医療を元気に

診療現場を変える臨床研究を発信することで診療の質を向上させる

3. 住民を元気に

健康長寿事業の実践と質の高い研究発信により福島県民の健康寿命を日本のトップレベルに向上させる

1.2. プログラムの最大の特長 “3つのP” について

Post
大学常勤ポスト

Practice
研究実践環境

Protected Time
研究のために
確保された時間

1.3.1. 地域基幹病院への診療支援

現在のフェロー診療支援先の具体例：



公立岩瀬病院 (須賀川市)

総合診療内科外来

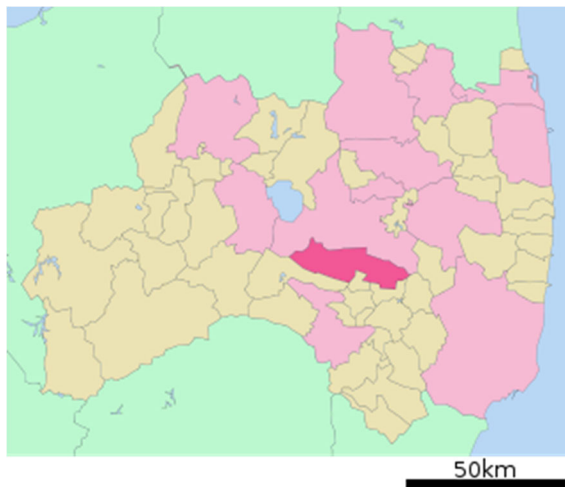
福島赤十字病院 (福島市)

内科 (新患)外来



1.3.2. 須賀川市健康長寿推進事業

- 自治体 (福島県須賀川市)と連携し**市内の要介護2以下の後期高齢者全員**を対象とした健康長寿延伸事業



福島県須賀川市 (Wikipediaより)



1.3.2. 須賀川市健康長寿推進事業



- エビデンスに基づく質問表案の議論および作成
- 事業成果のまとめ、報告書作成
- 研究テーマ計画、実行、論文化



DB運営



自治体との交渉



住民向け減塩WS

1.3.3. 会津藩校日新館 「臨床研究デザイン塾™」

- Clinical questionをresearch questionにbrush upする過程をグループワークで経験できる目玉企画
- 科を問わず全国の医師が福島県の温泉地に集結
- 2泊3日の**白熱した**ワークショップ
- 2019年で7回を数え、合計受講者350人超
- 2020年度からはオンライン化

1.3.3. 会津藩校日新館 「臨床研究デザイン塾™」



教えることで自ら学ぶ



ともに研究を学ぶ仲間が増える

1.4. 総合内科×臨床研究から広がる世界

- ・プライマリ・ケア医としてのネットワークも広がる
 - 「一発診断」の中川紘明 医師もフェロー



臨床研究フェロー, M.D.

中川紘明 Nakagawa Hiroaki

1976年北海道生まれ

2001年自治医科大学卒業

2020年10月から福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター着任

義務年限終了後も利尻島国保中央病院、市立根室病院など北海道の地域医療に従事し、その後愛知医科大学病院総合診療科・プライマリケアセンターで5年間お世話になりました。今まで実臨床が中心で、臨床研究について学ぶ機会がなかったため、思い切って福島の地にやってきました。臨床研究を通じて、また自分の日常診療をより良いものにしていきたいと思っています。

3.2. フェローの“未来”



佐々木 彰 (2014-2017在籍)

2017~

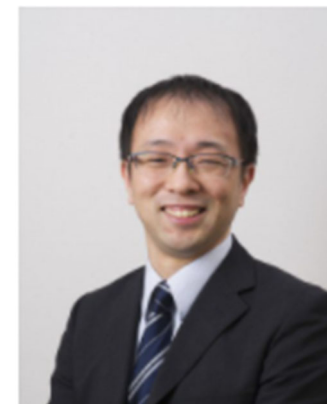
株式会社麻生 飯塚病院
腎臓内科医長/臨床研究支援室
チーフアドバイザー



新畑 覚也 (2014-2017在籍)

2017~

厚生労働省
老健局老人保健課介護保険
データ分析室



高橋 世 (2016-2021在籍)

2020~

福島県立医科大学
ふたば医療センター/総合内科